

広島県 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	SDGsビジネス事業化企業【16.4, 9.5, 17.16】	2020年 11 件	2021年 14 件			2030年 20 件	33%
2	県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数【4.4, 4.5, 10.2, 17.16】	2020年 28,585 人	2021年 58,417 人			2030年 200,000 人	17%
3	国連（等）で意見表明する資格を有するNGO等と連携した数【4.4, 4.5, 10.2, 17.16】	2020年 0 団体	2021年 2 団体			2030年 20 団体	10%
4	エコツーリズムとピースツーリズムを融合した新たなツアーコースの数【12.2, 8.9, 17.16】	2020年 2 件	2021年 2 件			2030年 5 件	0%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	①平和の取組を生み出すプラットフォーム広島島の構築	プラットフォームに参画する企業・団体数	2020年 0 団体	2021年 1 団体			2023年 200 団体	1%
2	①平和の取組を生み出すプラットフォーム広島島の構築	国際平和拠点ひろしまのウェブサイトの会員数及びSNS等の登録者数やアクション数の月間の平均値	2020年 9,600 件	2021年 9,819 件			2023年 22,000 件	2%
3	②地元民間セクターのSDGsへの参画の促進	環境・エネルギー分野の取組企業数	2020年 127 社	2021年 140 社			2023年 150 社	57%
4	②地元民間セクターのSDGsへの参画の促進	環境・エネルギー分野の付加価値額（売上額）	2020年 684 億円	2021年 896 億円			2023年 802 億円	180%
5	③平和人材育成プラットフォームの活用	県が提供するプログラム等により、被爆、復興の歴史や被爆者医療などについて学んだ人数	2020年 28,585 人	2021年 58,417 人			2023年 71,585 人	69%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

- （2）1については、進捗が思わしくなかった。「2021世界平和経済人会議ひろしま」を開催し、政治、経済、国連・政府機関、大学、研究機関、NPO/NGO等の各界で活躍する有識者を招聘して、エネルギー・医療・ダイバーシティなどをテーマに、国際平和の実現に向けたビジネスのあり方について議論し、多くの方に参加いただいた。しかしながら、直接的にプラットフォームへの参画には繋がらなかった。今後、プラットフォーム設立を周知し、参加団体数を増やすことが必要である。
- （2）2については、新型コロナウイルス感染症の影響で核兵器廃絶に関する主要な国際会議の延期や中止が相次ぎ、その結果、関係する事業も中止や延期となり、注目を集める情報の掲載が予定より減ったため、目標数値を達成することが困難となった。今後、国際会議開催などの注目が集まるイベントにあわせた発信を行うなど、引き続き、積極的な情報発信が必要である。
- （2）5については、「グローバル未来塾inひろしま」等の人材育成事業のほか、オンライン平和講座や研修・会議などでの教材の活用、パネル展の開催などにより目標値を上回った。
- 「広島県SDGsビジネスコミュニティ」プロジェクトとして、SDGsに取り組み県内の企業・団体（以下「企業等」という。）の事例を募集し、ウェブサイトで発信した。また、県内大学生が企業等の取組についてオンライン取材を実施して取材記事として取りまとめ、同様にウェブサイトで発信した。上記プロジェクトのまとめとして、初めて「ひろしまSDGsフォーラム」を開催し、SDGsに関心のある県内の企業等や学生が一堂に会した。大学生の活動報告のほか、SDGsに関するディスカッションの機会を設け、社会人と若者の交流から様々な意見が生まれた。
- SDGsに関心のある取組んでいる県内の企業等や学生らで定期的な交流会の開催や情報共有を行い、繋がりを深めた。